

ニーズの概要

寝かしつけられるスイングラック

現状の課題

小児病棟では、病気を持つ乳児の寝かしつけをする機会が日常的に多い。抱っこでようやく寝かしつけてもラックに置くと起きてしまい、再度寝かしつけをしないといけないことが多く、寝かしつけにはかなりの時間とスキルを要す状況である。
これは病院だけでなく、育児をする人にとっては誰もが経験する悩みでもある。

ニーズ

抱っこした状態からぬくもりやホールド感、とんとんの心地よさをそのまま持続できるスイングラックを開発してほしい。揺れやとんとん、は子どもの心拍や体動から最適なタイミングをはかれるシステムが望ましい。
また、子どもが落ちつく音（両親の声や歌声、好みの音楽、母の心拍の音、流水音等）もうまく取り入れられるようにし、個別性があるほうが親の受け入れもよいのではないだろうか。